

事後評価シート

コード 11-4-2	事務事業名 教育相談事業(小学校スクールカウンセラー)	所管部課 学校教育部教育相談課
---------------	--------------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 集団不応やいじめ、不登校等の予防や早期発見・早期対応、および、児童理解を深め豊かな人間関係作りを目指し、学校内の教育相談体制の充実を図る。	事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 教育相談員が訪問教育相談員として全小学校へ月2回訪問し、教員や保護者の相談を受け、心理学専攻の若者がスクールピアとして週1回訪問し、児童の遊び相手や相談、学習参加への支援を行う。両者は密接に連携して活動、毎月研修。訪問教育相談に従事する教育相談員の報酬は教育相談事業費より支出されている	根拠法令等 西東京市学校訪問教育相談事業の実施要領 スクールピア派遣事業の実施要領
事業開始時期	合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 学校訪問教育相談員訪問回数	活動指標の考え方(定義) 学校訪問教育相談員の市内全小学校19校への延べ訪問回数
	スクールピア訪問回数	スクールピアの市内全小学校19校への延べ訪問回数
	成果指標名 1次 延べ相談回数	成果指標の考え方(定義) 1次 学校訪問教育相談員が小学校で受けた、相談の延べ回数
	1次 児童との関わり回数	1次 スクールピア全活動の内、児童と直接的関わりをもった活動の延べ回数
	2次 学校へのアンケート調査	2次 「利用しやすさ」「信頼感」「親近感」(4件法)の平均値

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	11,261	10,154	10,097	5,728
	国庫支出金		8,404	7,553		
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		2,857	2,601	10,097	5,728
	所要人員(B)	人	0.4	0.2	0.4	0.4
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,309	1,666	3,274	3,274
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	14,570	11,820	13,371	9,002
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (延べ相談・児童との関わり回数)	千円	3	2	4	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値					
	実績値	回	364	351	338	
活動指標	目標値					
	実績値	回	696	664	665	
1次成果指標	目標値					
	実績値	回	2,209	2,269	1,934	
1次成果指標	目標値					
	実績値	回	2,749	2,899	1,775	
2次成果指標	目標値					
	実績値		3.45	3.21	3.55	

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	小学校長会から、相談員派遣の日数や時間数の増加を要望されている
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	26市中17市で、小学校への派遣を行っている。その内、教育相談員のみを派遣しているのは5市、それ以外を派遣しているのは10市、両方を派遣しているのは西東京市を含む2市である。派遣している人材の質、頻度や時間数は市によって幅があるため、総合的に見れば、サービス水準は同程度である。
	運営上の制約条件・外部要因等	中学校に東京都非常勤特別職でスクールカウンセラーを配置しているが、同様に小学校にも配置するよう、要望を続けている。

コード 11-4-2	事務事業名 教育相談事業(小学校スクールカウンセラー)	所管部課 学校教育部教育相談課
---------------	--------------------------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	▼	4 小学校段階の適切な見立てと対応が不登校・非行・精神疾患等の発生予防に深く関与することが明らかであり目的に合致。
	目標の妥当性 5 国・都の基準や他都市の水準を参考にしながら目標を定量的に設定している	▼	
	緊急性 4 今後しばらくの間、少しずつでも継続して実施する必要がある	▼	
2 市が関与する必要性	法的義務性 2 法律・条例での規定はないが、通達や要綱・要領で実施が規定されている	▼	2 小学校内の教育相談機能の充実のためには、教育委員会が積極的に学校に関わる必要がある。
	必要性 3 ほとんどの市民等が共通して利用する機会があるサービスである	▼	
	民間との役割分担 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	▼	
3 内容の適切さ	ニーズ 4 市民(市内)ニーズが明確に把握できており、サービスが不足している	▼	4 小学校保護者双方から学校配置の専門家を強く要望されており、限られた財源で効果的に運営する工夫をし毎年試行。
	規模・方法の妥当性 5 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズに基づき毎年見直している	▼	
	公平性 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民または団体が対象である	▼	
4 実施手段の適切さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	▼	4 教育相談員がスクールピアを指導し連携して実施してきた。学校の意識が高まり相談が複雑化していることから専門性の強化が必要
	効率性 2 市直営の中で具体的な計画や目標等に基づきコスト低減に取り組んでいる	▼	
	独自性 5 国・都及び市内には同種の目的を有する他の事務事業はない	▼	
合計			45

総合評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>スクールピア派遣で、子ども達は心理職を身近に感じ教職員も気軽に教育相談を利用する等効果が見られた。一方 困難事例の増加により学校訪問教育相談員がスクールピアを指導する時間の増加 研修の負担 子ども対象と保護者・教員対象とを分ける事の効率の悪さ 学校がスクールピアに、事業目的ではない介助員的な活動を期待したり、学校訪問相談員と同様の保護者や教員相談を期待したりと混乱が見られる等、課題が生じてきた。より、効率的で効果的な学校支援の方法を検討する必要がある。</p>

18年度における改善点	<p>教育相談事業の重点化として、スクールピア派遣事業を廃止し、教育相談事業に一本化することにより、経済的な効率化と効果的な学校支援を目指す。具体的には、これまで教育相談員を隔週派遣(教員、保護者からの相談を受ける)、スクールピア(児童の話し相手遊び相手、授業参加支援や相談を受ける)を毎週派遣していた方法から、臨床心理士の教育相談員を毎週派遣して、スクールカウンセラー機能(教員、児童、保護者の相談をトータルで受け、学校内教育相談体制作りへの支援や専門機関への繋がりや援助する)を果たせるようにする。これにより、最小のコストで事業の効率化を図る。</p>
-------------	--

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は平成18年度から教育事業の重点化として、スクールピア派遣事業を廃止し、教育相談事業に一本化されたが、今後とも学校及び関係機関などとの連携を保ちながら、相談事業の充実を図っていく必要がある。</p>
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業については、学校間の連携や関係機関とのネットワークによる相談事業の充実に向け、努められたい。 なお、本事業はスクールピア派遣事業を廃止し、専門的な相談員である教育相談事業に一本化したものであることから、その成果については検証が必要である。</p>
--------	---	--